DJ-RX31 セットモードの各機能について

DJ-RX31 は用途に合わせて正しく、より使いやすくするためにカスタマイズすることができます。起動中に設定を変更したときは電源を入れ直してください。

［ DJ-RX31　設定スイッチ（MODE）機能の説明］

1:　ビープ 音（設定スイッチ MODE 5）
設定値 ON/OFF（初期値 ON）
ビープ音（キー操作音など）の ON/OFF を設定します。
注）「OFF」にすると、すべてのビープ音（キー操作音、各種アラーム音、エンドピー音）が鳴らなくなります。

2:　コンパンダー（設定スイッチ MODE 6）
設定値　ON/OFF（初期値 ON）
コンパンダー機能を ON に設定すると、無音の電波を受信しているときに感じる「サー」というバックノイズを低減することができます。
注）コンパンダー機能のないトランシーバーをガイドの親機に設定する場合は、コンパンダー機能は必ず OFF にしてください。

3：　音量メモリー（設定スイッチ MODE 8）
設定値　ON/OFF（初期値 OFF）
OFF 状態では、電源スイッチを切ると音量が自動的に小さくなります。ON にすると、最後に電源を切った時の音量を記憶できます。毎回使う人が違うガイドシステムでは、前に使った人の音量が大きくて不快な思いをされないよう、ミニマムから好みの音量に調節できるよう配慮しています。

4：　バッテリーセーブ（ BS ）（設定スイッチ MODE 9）
設定値　ON/OFF（初期値 ON）
電波を受信していない待ち受け時に動作して電池消費を最小に抑えるバッテリーセーブ機能は、通話の始めの一部が途切れる「頭切れ」の原因の一つになります。 これを無くすために BS を解除できますが、電池の消費が早くなるためご注意ください。
連続受信のガイドシステムでは、待ち受け状態が無いため BS は働きません。 頭切れをなくす最良の方法は、ガイド側が送信ボタンを押した後、一呼吸置いてから話し始めることです。

5：　電池選択機能（設定スイッチ MODE 10）
設定値　アルカリ乾電池／ニッケル水素充電池（初期値 アルカリ乾電池）
減電池警告機能を正しく動作させるため、使用する電池の種類を選択します。

※ ノイズと混信の軽減について
受信していない待ち受け時にノイズが聞こえてわずらわしい場合は、グループトーク機能をお試しください。関係のない声が聞こえる混信の場合にも効果があります。

以上